

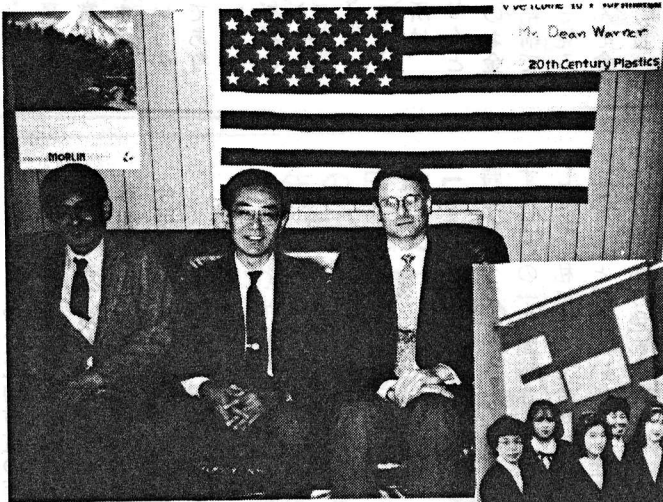
# 波 紋

1988

# 12

## 20世紀プラスチック

### 副社長来社



### 交 差 点

#### 20世紀プラスチック副社長来社

11月10日、11日、アメリカよりお客さんが会社へお見えになった。我々がロスアンジェルスで、いつもお世話になっている、20世紀プラの副社長D・ワーナー氏です。

長身のハンサムな32才、息子（8才、5才二人いる、ナイスガイです。

社員数250名、売上36億円（モーリンググループの2倍）の会社です。社員は色々な国の人っていて、12ヶ国の人種の人が集って一緒に仕事をしています。言葉や食物が大変でしょうね。

彼（ワーナー氏）と話をして、とてもすがすがしい気持ちになりました。それは、彼がクリスマスチャンだからでなく、すばらしく人間味ある考え方の持ち主だったからです。

彼のプラスチック会社は、朝7時～15時30分、16時～24時の2交代制の勤務時間になっている。土曜日は毎週休日の完全週休2日制です。日本びいきの彼は、ハシの使い方も上手で、食事の時、私ととなりにならされた木村部長の天プラを、一つもらったら、それを見ていた彼は、自分のハシを逆に持ち変え、皿から自分の天プラを一つ、私の皿に乗せてくれました。マナーも、日本人以上で感心させられる事ばかり、

名古屋駅に見送った時、サヨナラを言うと彼は、近いうちに、又、モーリンに来たいと言ってくれました。

森 信之



## トシ君の一方通行

日本で有数の料亭でKという高級料亭があります。この社長さんが、文化功労賞という大変な難い賞を受賞されたと聞きます。

何でも日本の食文化に貢献されたというのが受賞の理由でありまして、大変結構であります。おまけに年金で年間三五〇万円いただけるという、これ又大変結構なお話でございます。この「食文化」というのが、私、庶民にとりまして全く縁が無いのでありまして、このKの懐石料理が最低五万円であるそうで、お酒を飲みますと、(こういう場所は、お酒を召上るといふ表現かな。)なんと八万円位との事であります。一にぎりのお金持ちの方の食文化でありまして、大変結構でございます。こちら庶民は松茸なんぞ見るだけで目がくらみ、たまに「ふぐ」なんぞ食べようもんなら朝からソワソワもんで、食べる直前は風呂に入って体を清める位であります。しかしコースで五千円位のもので、一年に一回位です。

随分ひがみっぽいなあと思いの方もおみえでしょう。中には、「木村、可哀想だから十万円やるから行ってこい。」という善意の方も、みえるかも知りません。

しかし、私が十万円持って行ってもお店に入れてもらえません。私が無名でありますから。こういう料理が「食文化」でございます。九五%を超える我々庶民が食べれないのが、食文化でございます。

しかし、皆さん我々は、この食文化に参加しております。文化功労賞の年金を税金で、納めているではありませんか。

参加できて良かったですね。今年も、ひがみっぽい一年でありました。

木村 英利

## 『フォーシーズン』

山口 隆弘

『もう一年が過ぎちゃったのか』と先日飲んだ時こんな会話が出ました。本当に早いものですね。この一年間皆さんと色々な体験をしましたが、私にとつて今年は大変ラッキーな年であったと思っています。仕事にも、生活にも変化があり色々な体験をしました。

アメリカ視察もそのひとつ、そしてデイン・ワナーさんの来社、この時のことは皆さんも記憶に新しくよく覚えていると思います。

大変緊張しましたね。ワナーさんは優しくですばらしい人です。年齢を聞いてびっくり私より若いんですよ。やはり英語ができないから消極的になってしまっただけでした。

ある程度でも話せたらと考えると心残りがあります。これから少しでも勉強して、来年はみんなでロスのワナーさんに会いに行きたいですね。実現できる様何ごとも一生懸命取り組んで行きたいと思っています。

この度、お得意様A社女性社長より御丁寧にこの様なFAXが届きましたので、ここに御紹介させて頂きます。編集部一同、感激しております。ありがとうございました。

## 森松(株) 波紋編集の皆様へ

本日は、クイズの景品ありがとうございました。忘れていたので 喜びもひとしおでございます。(少々オーバーですが) いつも御社の波紋を、楽しみに拝読させていただいています。痛烈な皮肉に大笑いです。

私達、この世の中に於てすべてにかかわって生きています。又、商売に於ても同じです。世の中の動きに対して、決して鈍感であってはならないと思います。波紋の皆様方も、今後一層率直なストレートな感性を失う事なく、いつまでも、続けられる事を祈っています。寒さも日一日と厳しさを増してまいります。どうぞ皆様、御体を大切に頑張ってくださいませ。



より

今年も残すところ一ヶ月余りになってしまいました。そこで編集部では森松社員の皆さんにアンケートをお願いして集計してみました。さあ結果は・・・？

今年一年はあなたにとって  
どんな年でしたか？

図A・Bに対して  
 新入社員の人は、社会人になって、勿論、「仕事」も「海外旅行」も「スキー」も「ボート」も、沢山、「初めての体験」をしたという事で、「大満足の一年」になった様です。

他の社員は……？ という、「車」。「家」が、新しく変わった。仕事を通じてetc。勉強が出来た事、ナドナド。ひとまず、HAPPY ENDで一九八八年をおわらせる人も多かった様です。

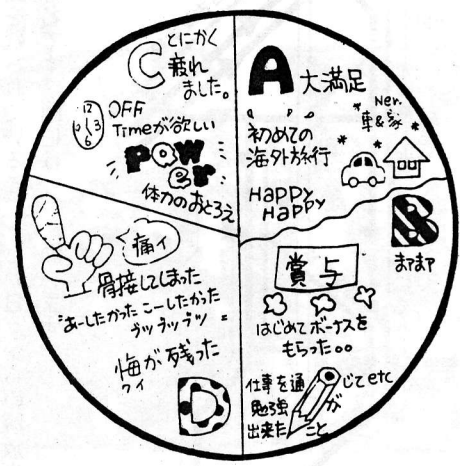
図Cに対して  
 毎年、歳をとっていき体力のおとろえを感じた。又、OFFが少なく、充実感が無かった為が主な理由でしたが、「体力のおとろえ」この辺に、新入社員との違いが有る様です。

図Dに対して  
 やりたい事が、出来なかった。又、事故にあつて骨折した等、不運な人もいましたが、やはり思う様にいかなかったというのが主な理由でした。是非、来年こそ、克服して頂きたいものですね！

### 来年の目標



### 今年



来年はどんな年にしたいですか？

やはり、トップはOFFタイムの充実願望「遊びたい」皆この一年は良く働いて休日は只々体を休めてたのかな？

それでも次は、しつかり「仕事」が来ています（サスガー！）

三番目に多かったのが健康維持、体力維持・増進を考えて何か「スポーツ」をと考えている人達です。

そして続くのが「英会話を少しでも身に付けたい」と思っている人達。先月はアメリカからのお客様を身近かにお迎えして切実に英会話の必要性を感じたからでしょうか。

五番目にやっと「家庭」というのが登場。これは少し残念ですが……。「いやいや、家族とのコミュニケーションは日頃充分とれてますから……」と反論は……聞こえてきませんね。

こんなところが来年の目標の結果の様です。さあ！皆さんそれぞれ少しでも、目標達成に、近づくと頑張り、良い年にして下さい。御協力ありがとうございました。



# 今月の社内行事

- 十二月三日 業務連絡会議  
午後一時より
- 五日 幹部会議  
午前七時半より
- 九日 森松産業㈱ 忘年会  
午後六時半より  
(木曽路にて)
- 十日 第二土曜日 休日
- 十二日 幹部会議  
午前七時半より
- 十三日 中堅幹部会議  
午前七時半より
- 十七日 F・M・S  
午前七時半より
- 十九日 幹部会議  
午前七時半より
- 二十六日 経営会議
- 二十八日 仕事納め

## 美術館紹介

### 「杉本美術館」

この美術館は、杉本健吉画伯の初期から、現在までにわたる作品その他資料を収納管理し、広く一般に展示公開をしています。

杉本健吉画伯は、明治三十八年に名古屋でお生まれになり、岸田劉生画伯に師事されて、はじめ洋画家としての道を歩まれ、昭和二十五年に吉川英治作「新・平家物語」の挿絵を担当された頃から、日本の画風を採り入れ、独特の世界を築いてこられました。特に、再建された大坂四天王寺には、六年の歳月をかけて制作された聖徳太子絵堂の壁画を残されていることは余りにも有名です。画伯は、

かねて作品が、一旦好事家の手に渡ると殆ど公の場所へは出ず、一般人の眼にふれなくなるのを嘆いておられました。ですから作品の大半を手放さないまま所蔵しておられた千点をこえる作品をこの美術館に寄贈されたのです。場所は、知多美浜町の薫風香る丘陵地、小原池の畔に位置し、伊勢湾を見はるかす静かなたたずまいは、美術の殿堂としてほんとうにふさわしい環境であります。

杉本健吉画伯の一生の画業の集落であるこの美術館が開館したのは、まだ去年の四月なんです。ほんとうに、素晴らしい自然の中にあるこの美術館へ皆様もぜひ何度となく足を運ばれ、毎日のめまぐるしい日々からの解放されることを願います。

## ●編集後記

今年の秋はとて短くて、あっ！という間に冬になってしまいました。早くからこたつを出した家も多いと思います。

寒いからといって厚着をしますと、風邪をひく原因になる場合もありますので、気を付けたいものです。

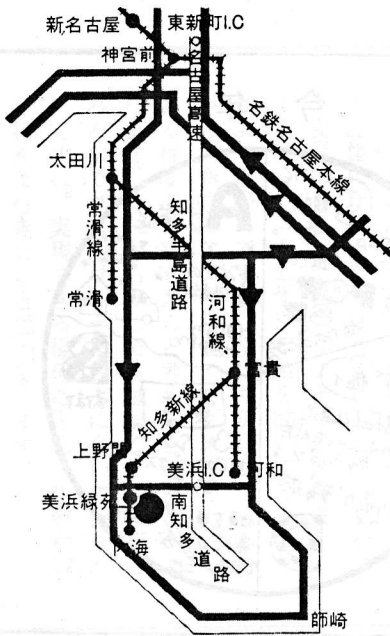
さて、今年ももう十二月です。やっとなんかと思う方もいるのではないのでしょうか。今年はどうな年でしたか？

来年もユニークで、重みのある「波紋」にして行きたいとおっしゃいますので宜しく御願い致します。

水野 陽子



編集発行者  
森松株式会社  
発行責任者  
橋本正子  
昭和63年12月1日  
第42号



●お問い合わせ(財)杉本美術館  
TEL0569-88-5171